



但馬国府・国分寺館ニュース

編集・発行

2014. 5

第37号

但馬国府国分寺館
Museum of Tajima Kokufu and Kokubunji

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808
TEL 0796-42-6111 FAX 0796-42-6112
http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/



きんりづか
禁裡塚古墳の横穴式石室（養父市）

円山川右岸にある養父市大藪の一带では、古墳時代後期（5世紀末頃～7世紀）を中心とする大小150基あまりの古墳が見つかっていて、大藪古墳群と呼ばれています。中でも、禁裡塚古墳・塚山古墳・西の岡古墳・コウモリ塚古墳の4基は、但馬最大級の横穴式石室を有しています。

特に、禁裡塚古墳の石室は、全長13.9m、高さ3.6mもあり、但馬最大の規模を誇ります。石室は赤色に塗られていて、死者を邪霊から守る役割があったと考えられます。また、石室の入り口には石室を塞ぐために積み上げた石材が今も残っています。

古墳時代後期、大藪古墳群の周りには但馬を支配した権力者がいたのでしょうか。

第32回企画展 但馬の古墳 — 死を送る人々の願い —

但馬では、8千基以上の古墳が確認されています。その数は全国有数で、但馬は“古墳密集地域”と言えることができます。

古墳の構造や副葬品には、当時の人々の死生観が反映されています。ただし、古墳は約400年間にわたって築かれたため、時期によって死生観は変化していくことが分かっています。

今回の展覧会では、但馬の古墳から出土した副葬品などをもとに、古代の死生観や、死者に対する人々の想いを解き明かします。この機会に、死をめぐる人々の想いを感じ

ていただければ幸いです。

■会期 平成26年5月8日（木）～9月9日（火）

■展示協力機関・個人（50音順・敬称略）

朝来市教育委員会 朝来市埋蔵文化財センター

いずし古代学習館 香美町教育委員会

京丹後市教育委員会 東京国立博物館

豊岡市立出土文化財管理センター 養父市教育委員会

石松 崇 新谷勝行 田畑 基 山根実生子

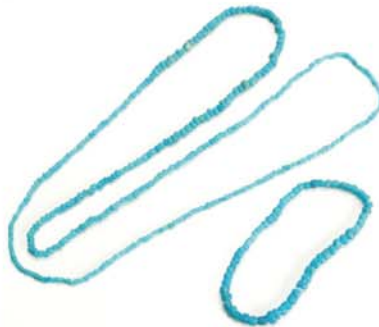
「古墳」以前—弥生時代—

魏志倭人伝には、「人の死後 10 日間は喪に服し、その後、^{みそぎ}禊をする」と記されています。弥生人は死=^{けが}穢れと考えていたようですが、あの世の具体像は分かりません。

弥生時代の墓には、副葬品はほとんどなく、遺体を埋めることが大きな目的でした。ただし、但馬や丹後は例外。両地域では、大陸と直接交易をしてもたらされた鉄製品やアクセサリーなどを多く副葬していました。副葬されたモノは権威・支配の象徴であり、副葬品を用いて儀礼を執りおこなっていたのでしょう。



入佐山墳墓群の埋葬施設（豊岡市）



ガラス玉（豊岡市・入佐山墳墓群）



珠文鏡（豊岡市・田多地引谷墳墓群）

死者を守る—古墳時代前期—

3 世紀中頃～4 世紀には、棺を粘土などで覆った櫛^{かき}が造られ、さらに竪穴式石室に納められていました。いずれも死者を邪霊から守ることが目的でした。

また、副葬品も鏡や武器、玉類など、死者の地位を示す品々ばかり。土器のように死後の世界で生き続けるための生活道具は納められませんでした。これらから、死者は厳重に守られることで生前の権威を保ち続けたと考えられ、「死後もあの世で生き続ける」という発想はなかったと考えられます。



城ノ山古墳の出土遺物〔重要文化財〕
（朝来市／朝来市教育委員会写真提供）

司祭者から武人へ—古墳時代中期—

4 世紀中頃以降、各地で巨大な前方後円墳が築かれました。但馬にも池田古墳（全長 141 m）や船宮古墳（全長 91 m）などの前方後円墳があります。

大きな前方後円墳には、大きく立派な石棺が用いられるようになりました。前期と同様、死者が厳重に守られていることは変わりませんが、より荘厳に飾ようになったのです。ただし、副葬品は鏡や玉類ではなく、剣などの武器が中心。被葬者は鏡を操る司祭者から、武人へと変わったのでしょう。



池田古墳（朝来市／朝来市教育委員会写真提供）



池田古墳の円筒埴輪（朝来市／朝来市教育委員会蔵）



たんこう 短甲（豊岡市・小山 1 号墳）



やじり 鉄の鏃（豊岡市・小山 1 号墳）

Topics 死者の枕

古墳の棺の中には、枕を置いたものがあります。枕は、板石を丁寧に加工したものから、土器2つを並べたものまでさまざま。特に山陰地域では、土器を枕にした例が多く見つかっています。これらの古墳は中小規模のものが多く、副葬品も少なめ。なぜ大規模な古墳では土器の枕を使わないのか、その理由の解明は今後の課題です。



土師器を転用した枕
(香美町・庵の谷1号墳
／香美町教育委員会蔵)



須恵器を転用した枕
(豊岡市・北浦古墳群)

● 死後も日常生活を願うー古墳時代後期ー

5世紀末頃になると、死者を葬る空間として横穴式石室が用いられるようになりました。横穴式石室は、何度でも出入りができる広い空間。埋葬されたのは1人ではなく、追葬もおこなわれています。副葬品は、土器など日用品が中心となり、死後もあの世で同じような生活を送ることができると考えられていたようです。

古墳時代後期の死生観は、中国の神仙思想や道教に起源があると考えられます。不老長生を死後の世界にも見出し、永遠に変わらない日常生活を送るように願っていたのでしょう。



楯縫古墳(豊岡市)



二見谷1号墳の石棺(豊岡市)



禁裡塚古墳の石室(養父市)



装飾付須恵器の破片(養父市・大藪古墳群
／養父市教育委員会蔵)



皮袋形瓶(香美町・八幡山6号墳/
香美町教育委員会蔵)



金・銀の耳飾り
(豊岡市・香住門谷古墳群)



さまざまな玉類
(豊岡市・大師山古墳群)



金箔で飾った馬具
(朝来市・宮内中山6号墳／朝来市教育委員会写真提供)



金箔で飾った刀

● 庶民を葬る一横穴墓一

古墳時代後期には、山の斜面に穴をあけて小さな部屋を造り、その中に死者を葬る横穴墓が造られるようになりました。但馬や丹後では、小規模な横穴式石室や横穴墓が数多く見つかっています。簡素な構造からいずれも“庶民の墓”なのでしょう。横穴墓に納められた副葬品は横穴式石室よりも質・量が劣るため、より質素な墓と考えることができます。



横穴墓（豊岡市・下鶴井横穴墓群）



横穴墓出土の須恵器（豊岡市・北浦横穴墓群）

● よみ 黄泉国から浄土へ一飛鳥時代以降一

6世紀、日本に仏教が伝来すると、死生観は大きく変わります。仏教の一般的なあの世は“極楽浄土”のように幸福に満ちた明るい世界。『古事記』などに記されている、地下の暗い“黄泉国”とは異なるのです。

古墳は飛鳥時代（7世紀）に入っても造り続けられました。しかし、仏教の普及により遺体を火葬するようになったため、古墳は“遺骨を納める墓”へと変わっていくのです。政治的・社会的な役割が薄らぐとともに、古墳は消滅したのです。



蓮の花が描かれた石材
（香美町・長者ヶ平2号墳／
香美町教育委員会蔵）



仏教文化の影響を受けた銅製の鏡
（朝来市・大谷2号墳／朝来市
教育委員会写真提供）



蔵骨器
（豊岡市・香住エノ田遺跡）



須恵器と銅銭（富壽神寶）
（豊岡市・立石ヒジグチ墓）

● 関連事業のお知らせ

■学芸員講座「但馬の古墳の謎を解き明かす」

日 時：平成26年6月15日（日）午後1時30分～
会 場：但馬国府・国分寺館 映像ホール
講 師：前岡 孝彰（当館学芸員）

- *聴講には入館料が必要です。予約は不要。
- *講座の後には、企画展の展示解説をおこないます。

■講座「古墳時代のあの世を探る」

日 時：平成26年7月5日（土）午後1時30分～
会 場：但馬国府・国分寺館 映像ホール
講 師：仲田 周平（豊岡市立出土文化財管理センター主事）

- *聴講には入館料が必要です。予約は不要。

■第18回ミニ企画展「黄泉国-神話にみるあの世-」

『古事記』の黄泉国神話を分かりやすくご紹介します。
会 期：平成26年5月1日（木）～7月18日（金）
会 場：但馬国府・国分寺館 総合学習室

- *ミニ企画展のみの観覧は無料です。

● 但馬国府・国分寺館のご利用案内



国分寺館キャラクター
たじまろ・くにひめ

- 開館時間 午前9時～午後5時
（入館は午後4時30分まで）
- 休館日 水曜日（祝日は開館し、翌日休館）
年末年始（12月28日～1月4日）
- 入館料 一般 500（400）円
高校生 200（150）円
小中学生 150（100）円
*（ ）は20名様以上
* 県内小中学生は無料
* 65歳以上の方は半額
- 最新情報はホームページをご覧ください。
<http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>
- facebook ページ公開中！
<http://www.facebook.com/tajima.kokubunjikan>